



新しい命が  
もう一つのいのちを救う

20<sup>th</sup>  
anniversary



特定非営利活動法人

兵庫さい帯血バンク

# ご挨拶

## 兵庫さい帯血バンク設立20周年を迎えて

新型コロナウイルスが猛威を振るい、医療も崩壊の崖っぷちに立たされていますが、皆さん、いかがお過ごしでしょうか。兵庫バンクの方は、コロナ禍の中にあっても、ほぼ平常通りの業務を行っております。

特定非営利活動法人  
兵庫さい帯血バンク

理事長 後藤 武



さて、特定非営利活動法人（NPO）として平成12年9月に設立された兵庫さい帯血バンクは、昨年、設立20周年を迎えました。振り返ってみますと、兵庫バンクの原点は阪神・淡路大震災にあります。あのとき、旧・厚生省のご協力のもと全国から多くの医療ボランティアの支援を受け、なんとか被災地の医療救護を遂行することができました。その支援に対して、具体的な行動によって感謝の気持ちを表したいとの故・貝原俊民兵庫県知事の意向を受けて、平成7年、大震災直後に兵庫医大に設置された近畿さい帯血バンクの故・原宏教授をはじめ、兵庫県議会、旧・厚生省などの関係者と協議・調整を行った結果、平成12年、近畿さい帯血バンクを衣替えした公的臍帯血バンクである兵庫さい帯血バンクの設立に漕ぎつけました。その際、有田美智世・さい帯血国際患者支援の会理事長らの兵庫県議会への働き掛けもあって、県から総額5千万円の助成も得ることができました。

兵庫バンクの運営については、事業の趣旨からいって兵庫県ではなくNPOで行う方が相応しいとの故・貝原知事の助言に従って、芦尾長司・元副知事を理事長とするNPOが、兵庫医大の旧MRI棟をお借りし、ボランティア活動としての事業を行うこととなりました。当初、造血幹細胞移植には医療保険の適応がありませんでしたので、運営に必要な寄附を集めるのに苦労しましたが、国からの支援などもあって、何とかバンク事業を継続することができました。

しかし、平成25年には、臍帯血保存バッグ破損事故のため保存臍帯血の提供ができなくなり、バンクは存続の危機に見舞われました。原因究明委員会を設置して原因究明を行い、再発防止策を講じた結果、事業再開についての理解が得られて、危機を脱することができました。そして、厚生労働省から法改正による臍帯血提供事業者としての認証も、いち早く受けることができました。その後、全国の公的6バンクのひとつとして活動を続けてきましたが、平成29年5月、兵庫医大から、突然、バンクの立ち退きを求められました。財政基盤の脆弱なNPO法人ですので、今度は駄目かと、一時はバンク閉鎖を考えましたが、これも国・県・神戸市のほか、一般県民をはじめ多くの方々の支援があって、移設を完了することができ、今日に至っています。

これまでの20年間の保存臍帯血の移植件数は2千例を超え、財政基盤も充実・強化されています。そして、平成30年に兵庫県社会賞を、昨年12月には第72回保健文化賞を受賞しました。また、設立20周年を迎えて、昨年9月には記念事業としてコンサートを開催し、本年2月に記念式典を開催する運びとなりました。

現在活動しているわが国の公的臍帯血バンクの中で最も長い歴史を持つ兵庫さい帯血バンクは、今後とも、重い病気で苦しんでおられる患者さんたちのために、良質な移植用臍帯血の提供を続けたいと考えておりますので、引き続き温かいご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

# 祝 辞

特定非営利活動法人「兵庫さい帯血バンク」が設立20周年を迎えられました。心からお喜びします。

平成11年に全国で始まった公的臍帯血バンク事業。化学療法や免疫抑制療法だけでは治療が困難な白血病等の血液がん、免疫不全症の治療などに広く活用されています。近年、再生医療の分野を中心に、新たな治療法の研究にも用いられており、その可能性はますます広がっています。

兵庫さい帯血バンクは、全国6箇所が存在する公的バンクの一翼を担い、これまでに約2,200本の臍帯血を供給されるなど、移植治療に大きく貢献してこられました。平成30年10月からは、日本赤十字社兵庫県支部社屋へ拠点を移し、日赤兵庫県支部や兵庫県血液センターとの連携を強化するなど、バンク事業のさらなる推進に向けた取り組みを展開されています。

母子から患者へ、かけがえのない命のバトンをつなぐのが臍帯血です。人と人がつながり、互いに支え合って生きる。私たちは、26年前の阪神・淡路大震災からの



兵庫県知事

井戸敏三

復興の歩みのなかで、そして外出自粛等を余儀なくされたこのコロナ禍で、その大切さを学び、実感しました。

医療関係者をはじめ、採取従事者、搬送・啓発ボランティア等とのネットワークを生かしながら、臍帯血バンクのさらなる普及促進を図り、誰もが安全安心に暮らせる社会をともに築いていきましょう。

兵庫さい帯血バンクのますますのご発展と、関係の皆様のご健勝でのご活躍を心からお祈りします。

兵庫さい帯血バンク設立20周年にあたり、心からお祝い申し上げます。また、日頃から造血幹細胞移植対策の推進に多大なるご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

臍帯血移植については、移植実施数が年々増加しており、現在、2万件近い移植が行われております。臍帯血移植には、移植可能な臍帯血の確保が必須であり、臍帯血を提供して下さる妊婦さんのご協力はもちろんのこと、臍帯血を採取する医療機関、採取された臍帯血の調製・公開・保存・提供の決定等の役割を担うさい帯血バンクの皆様方のご協力が極めて重要であります。また、新型コロナウイルス感染症の流行下においては、新規の骨髄ドナー登録者数の伸び悩みや、骨髄採取術のための手術室の確保が困難な事例が生じる中で、臍帯血移植の重要性がより増しております。

こうした中、平成12年の設立以来、皆様の長年にわたる御尽力により、兵庫さい帯血バンクで公開された臍帯血は7,232本にものぼり、また、公開された臍帯血



厚生労働省健康局難病対策課  
移植医療対策推進室長

田中彰子

による移植件数は2,000件以上を数え、19の提携産科医療施設と提携されるなど精力的に活動されております。

今後も、兵庫さい帯血バンクの活動を通じた臍帯血移植の更なる発展を期待するとともに、後藤理事長をはじめ皆様方の益々の御活躍と御健勝をお祈り申し上げます。

# 祝 辞

この度、貴バンクが設立20周年を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

貴バンクが20年にわたり並々ならぬ熱意と努力で事業の推進に貢献してこられたことに厚く敬意を表します。

また、さい帯血バンクに関わる医療関係者の皆様やボランティアの皆様、そして臍帯血を提供していただいたお母様方に心から感謝申し上げます。

臍帯血の移植数は2015年以降、骨髄・末梢血幹細胞移植数を上回り、国内の非血縁者間移植の過半数を占めております。加えて臍帯血は早急な移植にも対応できる造血幹細胞の源として、昨年からの新型コロナウイルス感染症への対応を迫られた状況においても重要な移植の方法となり、まもなく累計2万例になろうとしています。

新型コロナウイルス感染防止対策で活動が制約されているなか、貴バンクの皆様方もご苦勞されていることと存じます。私共は引き続き支援機関としての責務を全

兵庫さい帯血バンクが設立20周年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。家族内に不幸にして造血幹細胞移植のドナーが得られない方を救済するために骨髄バンクが設立され、ついで中畑龍俊先生らがさい帯血中に造血幹細胞が存在することを発見されたことをきっかけとしてわが国にさい帯血バンクが設立されました。ここ近畿は、神奈川とともにさい帯血バンクの発祥の地であり、その先進的な取り組みに敬意を表します。近畿さい帯血バンクはその後兵庫さい帯血バンクと名を変えながら、高品質のさい帯血を絶え間なく提供され続け、数多くの患者さんに福音をもたらしてこられました。全国の造血幹細胞移植医は、兵庫さい帯血バンクから提供される高品質のさい帯血を高く信頼してお

日本赤十字社  
血液事業本部長

高橋 孝喜



うし、一人でも多くの方の移植医療に貢献できるよう、貴バンクをはじめ関係団体の皆様と相互に連携しながら、造血幹細胞医療の充実、発展のために取り組んでおります。

これからも患者の想いに寄り添い、さい帯血バンク（移植）の発展をサポートして参りますので、今後ともご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴バンクの一層のご発展、皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

日本造血細胞移植学会  
理事長

豊嶋 崇徳



り、ここに移植医を代表して御礼申し上げます。これもひとえに兵庫さい帯血バンクのスタッフとここに関わる多くの皆様方の高いモチベーションと努力の賜物であります。今後ともより良いさい帯血をより多くの患者さんにご提供いただける兵庫さい帯血バンクであり続けますよう、ますますのご活躍とご発展を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

## 20周年に祝して

### 採取協力病院として、20年を振り返って

NPO法人兵庫さい帯血バンク設立20周年を迎え、心からお祝い申し上げます。

当院は1999年末にバンクから採取協力病院の依頼があり、2000年から採取を開始しました。臍帯血採取が軌道に乗った頃、私は2006年刊行の「臍帯血移植」のなかで、「臍帯血採取について」を執筆させて頂きました。

当初は週末、休日前はバンクで臍帯血を処理できないために希望があっても採取できず、妊婦さんには申し訳ない気持ちで一杯でした。バンクに改善をお願いし続けた結果、技師さんが増員され、週末もほぼ採取できるようになりました。搬送は「兵庫さい帯血バンク支援ボランティアの会」にお願いしていました。各採取施設の近くに住んでいる方々がグループを作り、雨の日も猛暑の日も明石から西宮まで搬送して頂き、頭が下がる思いでした。現在は業者をお願いしています。

当院での分娩数の増加に従って、搬送数と保存数は増加し、少なからず貢献できるようになりました。しかし、有核細胞数の多い臍帯血を効率よく保存するために、採取量と保存の条件が徐々に厳しくなり、搬送数と保存数は低下しました。また、最近では妊娠糖尿病や妊娠高血圧などのハイリスク妊婦が増加し、分娩時の異常出血などに遭遇する機会も増え、採取できない症例が増えてきた様に感じられます。

20年を振り返ると色々なことを思い出されますが、微力ながら今後もバンク事業に協力してまいります。

医療法人社団 吉徳会  
あさざり病院

副院長 三村 治



### さい帯血バンクとの20年を振り返って

兵庫さい帯血バンク20周年おめでとうございます。20年前に思いを馳せると、この頃、東大医科研の成人さい帯血移植の初めての成功例が新聞紙上で発表されました。その頃は気づきませんでしたが、この時、造血細胞移植もさい帯血バンクもとんでもない大きな転換期を迎えていました。

当時、世界的に移植の世界で大きな潮流となっていたのがミニ移植です。ミニ移植はそれまで移植は無理と考えられていた60歳を超える高齢者や臓器障害のある方まで移植を可能としました。虎の門病院では、このミニ移植とさい帯血を組み合わせた臍帯血ミニ移植の開発に取り組んできました。両方とも生着不全が最大の問題でしたが、臍帯血が多くの患者さんに緊急の移植を可能とし、ミニ移植で年齢や臓器障害の壁を超えるという画期的なものでした。

さい帯血移植は十分な細胞数が得られることが重要ですが、日本では90%以上の患者さんにいつでも安全な移植医療を提供できるようになっています。また、さい帯血移植といえば生着不全が問題とされてきましたが、当院では生着不全は長く経験していません。それもこれもバンク関係者と我々のこの20年の共同作業の結晶だと思います。もはや世界をリードする日本のさい帯血移植がもっと発展できるよう、より多くの患者さんを救えるようにまだまだお互いに精進していきましょう。

国家公務員共済組合連合会  
虎の門病院

副院長 谷口 修一



# 支援団体

## 西宮ホワイトライオンズクラブ

### さい帯血バンク支援活動を振り返って

特定非営利活動法人兵庫さい帯血バンク設立20周年に対し、西宮ホワイトライオンズクラブ会員一同、心よりお慶び申し上げます

さて、西宮ホワイトライオンズクラブは、2002年2月に西宮地区唯一の女性クラブとして結成されました。結成当初、女性クラブならではの奉仕活動を模索してありましたところ、兵庫さい帯血バンクとさい帯血移植医療を知り、お話を伺う機会を得ました。その時の「新しい命がもう一つのいのちを救う」というお言葉に会員が感動を覚え、一人でも多くの方に、そして、他のライオンズクラブにも広めて行きたいとの思いから「さい帯血バンク支援活動」が始まりました。

チャリティ・バザー、ゴルフ大会の主催を毎年行い、絵本「しあわせのおくりもの」を病院や小学校児童へ、又、ご結婚される新婦に渡して頂けるように、神社・ホテルに贈呈をしました。妊婦さんに渡す母子手帳等を入れる「こころちゃん袋（バンクのシンボルマーク入り）」

ライオンズクラブ国際協会 335-A  
2R・4Z西宮ホワイトライオンズクラブ

会長 入江 成子



も作成し、西宮市に継続し贈呈を行い、他にもさい帯血を搬送するボックスもボランティアの方々にお渡し致しました。

このような活動の中で、「さい帯血で娘の白血病が治った」「今度は、さい帯血を提供したい」と嬉しい声を聞きます。その声は、私達に更なる奉仕活力を与えてくれます。

私達は『We Serve』のもと、これからも、尊い命を救う「さい帯血バンク支援活動」を継続していく所存でございます。

新型コロナウイルスによる影響で大変な状況でございますが、兵庫さい帯血バンクの益々のご発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

## さい帯血搬送ボランティア「大森スマイルグループ」

さい帯血搬送ボランティア大森スマイルグループは2007年に結成し3名からスタートして現在7名で活動しております。

最近の主な出来事は①平日だけの搬送に土曜日が加わり提供・採取機会が増加②さい帯血バンク本部の移転に伴い搬送先も神戸に変更③さい帯血搬送箱の変更と厳重な管理徹底④去年は新型コロナの感染拡大により合同研修会の中止⑤感染拡大防止のため搬送者はマスクの着用や手洗い・うがいの徹底・三密の回避等⑥医院での搬送箱受け渡し場所がナースセンターから玄関へ変更⑦緊急事態宣言を受け4～5月約2か月間の搬送ボラ活動の中断…と過去には想像もできなかった事ばかりですが、裏を返せば安心安全なさい帯血が患者様に届く心配りができる様になりました。

私個人としては災害ボラ活動もしておりますが、去年はコロナ禍により県外災害ボラ活動も残念ながら中止。又、さい帯血搬送ボラは縁あって5年前から活動させて頂いております。私の名前は臍の緒が首に巻いて生まれた事に由来しており個人的にこれは臍の緒が取り持つ縁と覚えてなりません。

今年も全国的に新型コロナの感染拡大が止まらず緊急事態宣言再発令も考えられる中、1日でも早い収束を心より願うばかりです。さい帯血が一人でも多くの患者さんに届けられるよう臍の緒が取り持つ縁を大切にして安心安全を心掛けて活動させていただきます。

「大森スマイルグループ」

代表 白石 今朝徳



## 活動アルバム



2013.7.28  
ほこてん(歩行者天国)でさい帯血啓蒙活動  
ほこてんで触れ合いほっこり



新年会で寄付金贈呈



2007.1.12  
西宮市立平木小学校に絵本「しあわせのおくりもの」を贈呈  
さい帯血のお話に子どもたちは真剣そのものでした



バンク法被を作製しました  
イベントに大活躍してます



バンクのためのチャリティゴルフ  
大会  
今年で9回目になりました



西宮市では母子手帳を、この  
「こころちゃん袋」に入れてお渡  
しています。“可愛い!!”でしょ



西宮酒くらルネッサンス チャリティバザー  
恒例になりました



2011.11.20 神戸マラソン  
応援&啓蒙活動



2020.3.31  
突然のコロナ禍マスク贈呈  
いち早く駆け付けました



「かよいぼこ」  
もう一つのいのちを救うため、日本全国  
の患者さんにさい帯血を届けています



「さい帯血搬送BOX」  
採取施設からバンクへ  
さい帯血を運びます

## かがや さい帯血搬送・説明ボランティア「耀き」

「耀き」は平成15年、さい帯血搬送ボランティア活動を開始しました。平成24年に、産婦人科の閉院などで中断しましたが、平成30年から他の産院のさい帯血搬送を再開することができるようになり、日々搬送することの喜びを感じていました。

令和2年の新年を迎えた当初、より多くのさい帯血搬送ができることを願い、意気揚々としていました。しかし3月以降、想像もしていない状況に陥りました。

新型コロナウイルス感染症は、あっという間に全世界を襲いました。4月には緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出をしない事が求められました。医療が逼迫する中、私たちができることは、病気にならない事、ケガをしない事でした。そのため「耀き」は残念ながら、さい帯血搬送を一旦休止し、コロナ収束後に搬送活動を再開することとしました。なお、6月から、説明ボランティアは再開しています。妊婦の皆様へ、血液の難病の治療にさい帯血が果たす役割を説明し、さい帯血のご提供をお願いしています。血液の難病をかかえる患者さんが一日も早く元気になられて、耀く日々を送られることを願っています。



耀きのマスコットキャラクター  
「かがやきちゃん」

「耀き」

代表 白根 知子





又この命の救済に協力して下さる方に、  
誰かの命の救済に協力して下さる方は、とても素敵な方だと思います。  
命の輪が広がりますように。  
ペンネーム: J-33

医療機関に勤務しており、日々院内のホワイエで目にしたさい帯血パック。  
自分のお母様も、手術に必要かと思いつき、お母様に会った時に、さい帯血のこと  
思い出した。「さい帯血が何の役に立つのか」とお母様は気持ちよくお話を聞かれました。  
と聞き、出産の際は、時折、頭を片隅で息子の顔が覗く花壇が思い出されます。  
心が温かいです。母には、痛みもはたかた知らず、お母様の時を  
過ごさせてあげたい。さい帯血 大切に。ペンネーム: さく

元々、捨てるさい帯血を「提供」する中、  
誰かの命があるなら...と、お母様に提供を決めました。  
誰かの命が救われますように。  
ペンネーム: N.R

さい帯血を提供していただくにあたり、こちらには特に何の負担も  
ないと思います。Bloodbankにお願いしてあげるといいですよ。

### さい帯血移植をされた若尾直子様

私に臍帯血を提供してくださった  
ママと赤ちゃんへ「ありがとう」を  
伝えたい！  
ある日突然、白血病と診断されま  
した。そのときすでに認知症の母  
は、施設で暮らしていたので、私が  
病気になったことは知りません。も  
し何かあっても解らないでしょう。  
でも、母を残しては逝けません。そ  
んな私がこうやって母と写真を撮  
ることができています。新しい血液  
を造るための臍帯血を提供してく  
ださったママと赤ちゃんのおかげ  
です。命の絆を繋いでくださったマ  
マと赤ちゃんに心より感謝申し上げ  
ます。  
本当にありがとう!!!  
移植から4年半、合い言葉は『目指  
せチコちゃん』です。



94歳のお母様と「イエーイ!」

少しでも力になれれば私も嬉しく思えます。  
20年経つていないのに、お母様は思いますが  
お母様の笑顔に元気が、お母様の笑顔に  
ペンネーム: あーん

体外で検査のためです。  
この奇跡が、別のと似た様な奇跡に繋がりますように。  
多子化、少子化とこの世の中では、1人を作ることで、育てるのは同じ  
本当に大変なこと、しかし、お母様の命を救うため、  
お母様の命を救うため、  
頑張ります。ペンネーム: KK

さい帯血が「白血病」などの病気の治療に使う事が  
できると知り、~~お母様の命を救う~~さい帯血提供は出産した  
時のサビやシミを綺麗にするには、お母様を産んだ証  
と、お母様の命を救うには、お母様を産んだ証  
しました。病気は他人事では、自分自身で頑張らなければ  
なりません。提供が出来るように頑張ります。  
提供の輪が広がりますように。  
ペンネーム: さつき

自身白血病で11歳を亡くしており、  
ゆいでも困っている方、移植を検討している方の  
役に立てる事が出来たら...と思い提供させて  
頂きました。  
ペンネーム: E.I

3人目の出産時に初めてさい帯血を提供しました。  
いまでも、誰かのお役に立てればという気持ちで、こんな世界  
だからこそ、誰かの助けになればいいと思います。  
和と娘をつないでいた絆が、助けが必要とされている方に  
届きますように!!  
ペンネーム: あけみママ  
2021.1.14

白血病と苦しんでいる方、どうかお母様の奇跡に  
私とお母様のさい帯血が、救える命であり奇跡に  
なれるように。  
さい帯血を提供できる  
お母様を。  
ペンネーム: MI

さい帯血という言葉も  
ありがとうです。

一日でも早く退院でママより、  
願いを込めて提供させて頂きます。

上手く活用されることを願っています。  
とても元気な赤ちゃんが産まれたら、  
お母様にも元気になりますように!

さい帯血というものを初めて知って、助かる命のためにお役に立ちたい  
と嬉しく思っています。  
私達のさい帯血で誰かの命を助けたら、出産の奇跡が、  
お母様の奇跡と思えば、奇跡は起こすお母様の奇跡です。  
ペンネーム: かい

今回5人目の出産でしたが、命の誕生の神秘さ  
大切さを出産毎に感じています。  
さい帯血提供で大切な命が救われることを  
願っています。  
ペンネーム: けんちゃんママ

# 事業実績

## NPO法人兵庫さい帯血バンク20周年にあたって

NPO法人兵庫さい帯血バンクは、2000年9月に設立され今年度20周年を迎えました。恩師 故 原 宏先生が「造血幹細胞ソースとして臍帯血を利用し、何とか骨髄ドナーのリスクを回避したい。」との願いを込めて1995年11月、阪神淡路大震災の影響で遅れをとりましたが神奈川臍帯血バンクに続き全国2番目に設立した近畿さい帯血バンクを母体としており、当初から数えれば早4半世紀が経過したことになります。

臍帯血移植は、当初、小児を中心に実施されていましたが、細胞数の多い高品質臍帯血の保存増加や移植技術の改良とともに適応が成人・高齢者にも拡大し、その移植数は2003年頃から急速に増加し2016年以後は骨髄バンクを介した移植を上回り、2020年には年間1496例、累計ではまもなく2万例を突破しようとしています。臍帯血移植の欠点である生着不全や各種の感染症対策にも改良がなされ、その成績は向上し非血縁者間骨髄移植の成績と遜色はなく、また、50歳以上の高齢者の移植では移植後の再発や合併症のない生存率は血縁者間移植と同等であるとの報告も見られるようになってきました。まさに隔世の感があり、臍帯血バンク事業に携わるわれわれにとって大きな励みになっています。

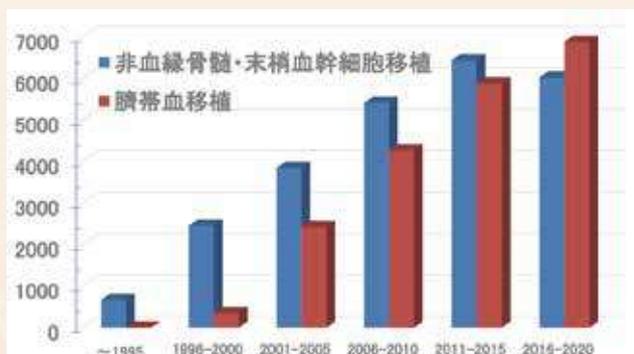
兵庫さい帯血バンクのその歴史を振り返ればこの10年間にも、臍帯血保存バッグの破損問題による登録臍帯血の公開停止、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律（平成二十四年九月十二日法律第九十号）」制定に伴う設備や書類の整備、西宮から神戸への移転など様々な問題がありました。「日本臍帯血バンクネットワーク」の時代、最大11あったバンクのうち現在も活動中の公的6バンクの一つとしてよく生き残っているとの感慨も一入です。

これも兵庫県・神戸市はじめ多くの県民の皆様のご理解とご支援、採取施設の先生方やスタッフ、ボランティアの方々の献身的なご協力、そして全国の移植医療機関、移植を受けられるあるいは受けられた患者様やそのご家族の皆様のご支援がわれわれを後押ししていただいているおかげであると思っています。一同、今後もなお一層高品質の臍帯血をより多く保存し、造血幹細胞移植を必要とされる方に届けられるよう精励努力する決意を新たにしております。

ここにお礼を申し上げますとともに兵庫さい帯血バンクの歴史・現状について簡単にお示しいたします。

### ■ 本邦の非血縁者間造血幹細胞移植数の推移

(造血幹細胞移植情報サービス資料より 2020.12.31現在)



骨髄バンクを介した非血縁者間骨髄移植は1991年（末梢血幹細胞移植は2010年に導入）、非血縁者間臍帯血移植は1997年に第1例目が実施された。以後、2020年12月末までに前者は25,039件、後者は19,737件の移植が実施されている。2016年以後は臍帯血移植数が骨髄バンクを介した移植を上回り、特に2020年はコロナ禍の影響もあり臍帯血移植が1496件と増加、骨髄バンクを介した移植が1092件と減少した。

管理監督技術者

甲斐 俊朗



### ■ 臍帯血提供数と移植に用いられた本数

(兵庫さい帯血バンク 2020.12.31現在)



1997年9月の第1例目の提供から2020年12月24日までに2214本の臍帯血を提供し2142本が移植に用いられた。69本が出庫後移植中止、3本が移植予定である。そのうち、臨床試験として実施された2本の臍帯血同時移植症例が29例（兵庫さい帯血バンクから2本提供したものが19例、他バンクの臍帯血との同時移植例が10例）ある。

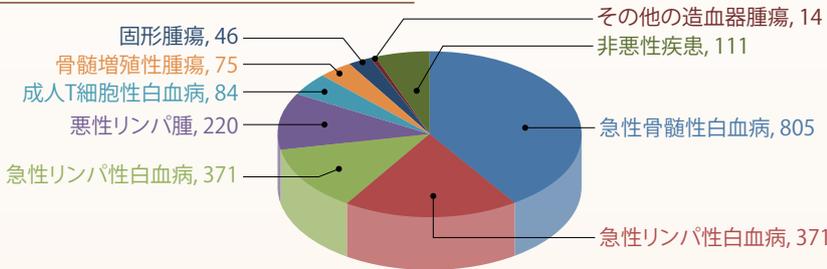
## ■兵庫さい帯血バンクからの提供移植例の内訳

(臨床経過報告済症例)

移植数 ..... 1979例  
 男/女 ..... 1193/786  
 年齢 ..... 4か月~79歳(中央値 47歳)  
 体重 ..... 3.9~110.5kg(中央値 53.2kg)  
 移植歴(無/有) ..... 1468/511  
 前処置\*(MAC/RIC/不明) ..... 1024/943/12

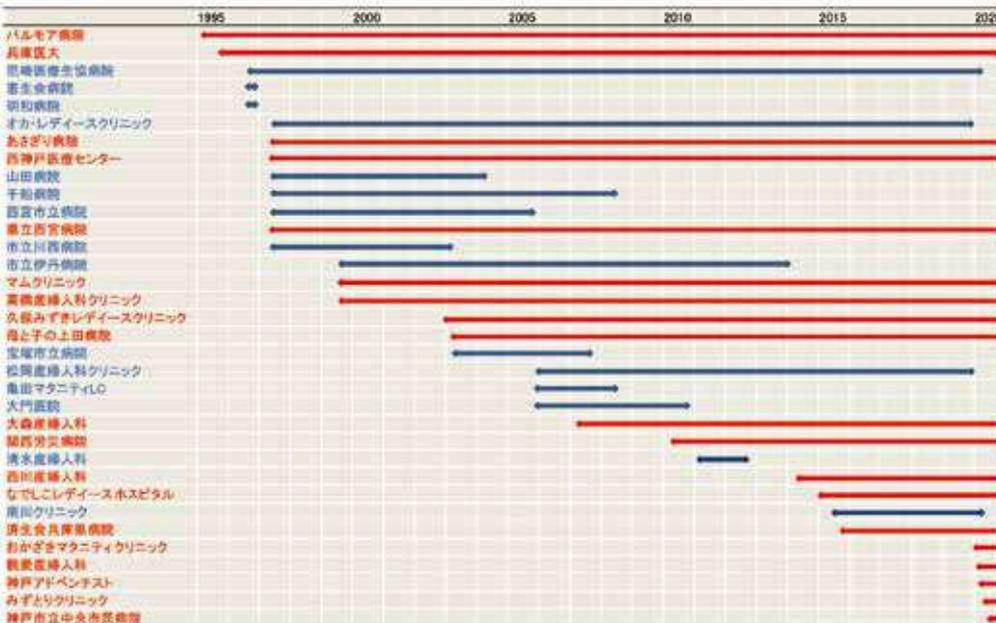
\*MAC: 骨髄破壊的前処置/RIC: 減弱前処置

## ■疾患



兵庫さい帯血バンクから提供した臍帯血で移植を受けた患者様の内訳を示す。当初は小児への移植例が多くみられたが最近ではほとんどが成人であり、50歳以上の移植例が多い。疾患は、急性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫で全体の83%を占める。

## ■兵庫さい帯血バンク臍帯血採取医療施設の変遷



兵庫さい帯血バンク設立時から現在まで臍帯血採取に協力いただいた医療施設は34ある。現在は19施設と契約を締結し採取医療施設として参加いただいている(赤棒)。

## ■臍帯血採取と搬送・保存状況

(兵庫さい帯血バンク 法制化後 年度別 2020.12.31現在)



採取施設における採取率は施設間で差があるが、この7年間の平均は約20% (2020年度は26%に増加)、採取臍帯血の約半数がバンクに搬送されている(半数は主に採取量不足で採取施設で廃棄)。最終的に細胞数基準を満たし感染症結果が陰性で仮保存に至るものは搬送臍帯血の32% (2020年度は27%に減)である。

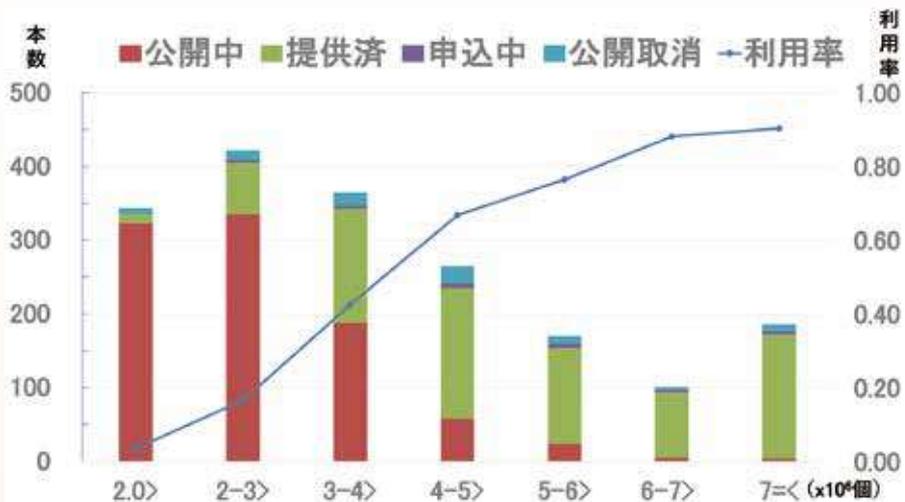
\* 受入不可: 外観異常(凝固等)や問診票・分娩記録や家族歴調査票の書類に不適項目があるもの

\* 調製開始前の細胞数不足: 細胞数が11.5~12.0x10<sup>8</sup>個未満のもの  
 \* 調製開始後保存不可: 保存前の有核細胞やCD34陽性細胞数が基準を満たさないもの。調製中に凝集粒が生じたものなど。

\* 仮保存不可: 母体血や臍帯血の感染症検査、無菌検査が陽性になったもの。

## ■ 法制化後登録臍帯血のCD34陽性細胞数別利用率

(兵庫さい帯血バンク 2020.12.31現在)



2013年6月17日以後、法制化の対応に向けて保存した臍帯血のうち、登録公開に至った臍帯血のCD34陽性細胞数別による本数と利用率を示す。CD34陽性細胞が $3 \times 10^6$ 個未満のもの利用率は10.7%と低い。

## ■ 2019・2020年度登録、公開中および公開予定臍帯血のCD34陽性細胞数別本数

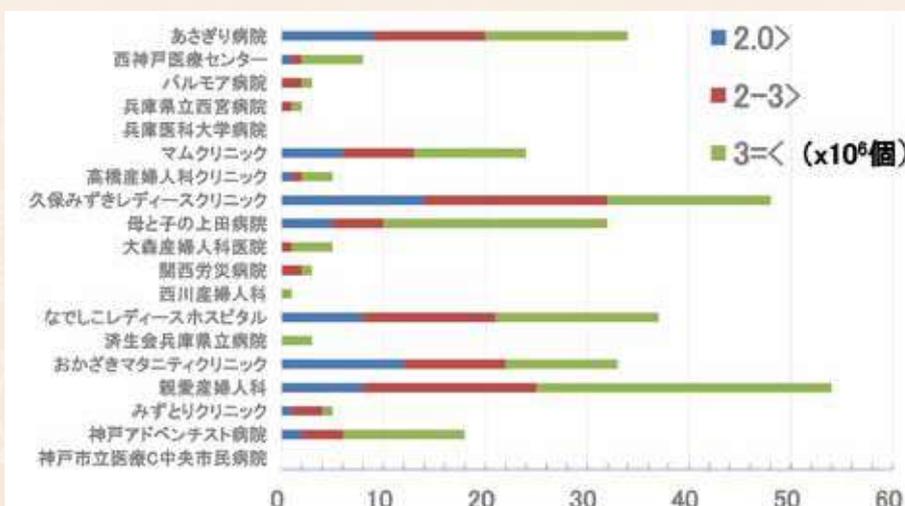
(兵庫さい帯血バンク 2020.12.31現在)



CD34陽性細胞数が $3 \times 10^6$ 個以上の利用率の高い公開中の臍帯血比率は29.8% (279本)であり、公開予定の臍帯血では49.0% (164本)である。2019,2020年度に登録公開したものではそれぞれ64.2% (115本)、51.2% (111本)であり、その比率が減少傾向にある。

## ■ 採取施設別のCD34陽性細胞数と保存臍帯血本数

令和2年度(4月~12月)



令和2年度(12月末まで)の採取施設毎のCD34陽性細胞数別保存数。施設毎に保存率にも大きなばらつきがある。巡回勉強会や研修会においてドナーリクルート方法の見直しや採取技術の向上により移植利用率の高い臍帯血の保存を目指している。

## 兵庫さい帯血バンクのあゆみ

年	月	出来事
1994年	5月	兵庫医大:原宏教授(後の兵庫さい帯血バンク副理事長)が班長となり、全国の専門家による「さい帯血バンク研究会」がスタート
1995年	11月	兵庫医大、奈良県立医大が協力し、現在の兵庫さい帯血バンクの前身となる近畿さい帯血バンクを設立(全国で2例目)
1997年	2月	移植用さい帯血の提供開始
1998年	4月	臍帯血移植の保険適用が実現
1999年	6月	近畿さい帯血バンクの中で兵庫医大のみが厚生省から公的バンク(助成金対象)に指定されたため、従前バンクから分離独立し、兵庫臍帯血バンクとなる。
	8月	兵庫を含む全国8箇所の公的バンクで構成する「日本さい帯血バンクネットワーク」設立(26年3月まで)
2000年	9月	<b>特定非営利活動法人兵庫さい帯血バンクを設立</b> (初代理事長:芦尾長司・元兵庫県副知事)。バンクの運営主体を兵庫医大から移管
2003年	6月	文科省再生医療プロジェクト研究用幹細胞バンク事業に参画。
2004年	3月	兵庫医大旧MRI棟にGMP基準の細胞分離調製室を整備して移転。
2005年	11月	特定非営利活動法人兵庫さい帯血バンク5周年事業。 (移植300例達成)
2007年	3月	兵庫県下で第一号となる「認定NPO法人」の認定を受ける。
2010年	2月	特定非営利活動法人兵庫さい帯血バンク設立10周年事業実施。 (移植800例達成)
	7月	後藤武・(公財)兵庫県健康財団理事長、第2代理事長に就任。
2013年	9月	臍帯血保存バック破損問題が生じ、移植用保存臍帯血を公開停止。
2014年	2月	移植用臍帯血の登録公開業務を再開
	4月	「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」が施行され、厚生労働大臣から臍帯血供給事業の許可を受ける。
2015年	4月	法律の施行に伴い、業務の執行形態を兵庫医大への技術業務委託からバンクへの技師出向に変更。
2017年	5月	兵庫医科大学から病院整備のため立ち退き要請を受ける。
	11月	兵庫県から、さい帯血バンクの全国展開を先導し、多くの白血病患者等の命を救い、県民福祉の向上に寄与したとして、「兵庫県社会賞」を受賞。
2018年	10月	兵庫県や神戸市をはじめ各方面の格別のご支援と多くの方々のご寄付を得て、兵庫医大から神戸市中央区の日赤合同庁舎に移転。
2019年	2月	移転作業のため4か月の業務休止期間を経て、業務再開。
2020年	9月	<b>特定非営利活動法人兵庫さい帯血バンク設立20周年記念コンサート開催</b> (移植2,100例達成)
	12月	第72回保健文化賞の受賞決定
2021年	2月	特定非営利活動法人兵庫さい帯血バンク設立20周年記念式典及び研修会開催(予定)

# アルバム

2000年



臍帯血保存用高規格タンクと  
芦尾長司 初代理事長

2005年



2005.11.5  
設立5周年記念事業公開講座  
司会の原宏副理事長

2002.3.18  
第一回チャリティゴルフ大会  
準備に大忙しです



2011年



2011.2.10  
貝原前知事に出庫実績1,000件超の報告



2011.5.13  
井戸知事に移植1,000件達成報告



マスコットキャラクター  
「ころちゃん」に  
決定しました

2013年



2013.2.2  
原宏副理事長が読売新聞社主催  
「医療功労賞」を受賞されました。  
大江与喜子現理事と



2013.12.24  
臍帯血破損バッグ調査委員会  
2014.2月登録公開業務を再開  
しました

2014年



2014.2.28  
臍帯血供給事業許可申請書現地調査  
4月1日「臍帯血供給事業者」の許可を得ら  
れました



2014.2.20 3回目のNPO認定更新

2015年



2015.11.7  
神戸新聞主催 マタニティコンサート



2013.5.27  
国会議員・県会議員等のバン  
ク見学会・意見交換会が行わ  
れました



## 2007年



2006.7.19  
赤松厚生労働副大臣視察  
臍帯血の保険適応などを求める  
「要望書」を提出

## 2010年



2010.2.14 設立10周年記念レセプション

## 2012年



2012.3.22  
国際ソロプチミスト神戸様  
主催バザー

ハンディターミナル管理  
システム導入



2010.9.18 神戸発  
さい帯血バンク推進全国大会  
レセプション



2010.7.1  
後藤武  
新理事長就任

## 2016年



三菱UFJ信託銀行神戸支店長から「かけ  
はし信託愛の基金」のご寄付を頂きました



いただいたご寄附で「かよいばこ」と技師  
の防護服着衣確認のための「姿見」を買  
わせていただきました



2016.10.14  
第1回チャリティコンサート開催  
「ゴールデンシニアトリオ」

## 2017年



2017.11.7  
兵庫県社会賞を受賞



2017.8.7 臨時理事会・総会  
突然の立ち退き要請によりバンクの存続を懸けて開催



2017.6.29  
厚労省瀬戸愛花室長補佐  
当バンクの採取施設視察  
(久保みずきレディースクリニック)



2017.12.3  
神戸大丸前で街頭募金活動をしました。  
「さい帯血バンクの存続にご協力をおね  
がいがいます。」



## 2018年 移設

2018.10.9 日赤合同庁舎に引っ越し



クリーンルーム 臍帯血の調制作業を行います



安全キャビネットの撤出



フリーザーの搬入



臍帯血の搬送は慎重に  
温度管理や衝撃対策等、とても神経をつきました



搬送用の液体窒素タンクから  
バンクのタンクに戻します  
まだまだ気は抜けません

## 2020年~21年



2020年はコロナ禍により合同研修会は中止  
理事会・総会は書面にて開催となりました

堀江トリオによる「20周年記念コンサート」開催



マスク  
ある時!



理事長挨拶



ない時!



司会はお父様の  
堀江政生氏

兵庫さい帯血バンク 設立20周年記念コンサート  
～ご支援を感謝し、更なる発展を期して～

20th anniversary CONCERT

【ホーン・トリオ】  
堀江トリオ  
サソ 堀江 教生  
ヴァイオリン 堀江 忠太  
チェロ 堀江 詩葉

【MC】  
堀江 政生  
（神戸赤十字病院 血液内科 血液検査科 血液検査センター長）

2020年  
9月2日(水) 19:00開演  
（18:30開場）  
中華会館  
東亜ホール

入場料 3,000円（全席指定）

【お問い合わせ先】  
特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク  
TEL. 078-221-0280 FAX. 078-221-0282  
（受付時間）10:00～17:00（土曜・日曜・祝祭日を除く）



リハーサル  
仲良し3兄弟妹



入場者の人数制限・感染予防対  
策等ご理解ご協力を頂きました



本番 ブラボー!!!



拍手喝采。癒しをありがとう



2019.2.20  
4度目のNPO認定更新



2019.12.6  
ホームページリニューアル  
ホームページのQRカード作成



2019.2.28  
シンボルマーク決定  
応募数171件の中から増田早姫様(21歳学生)の作品が選ばれました。  
「愛の循環を一筆で表しています」

## 保健文化賞 受賞

第一生命株式会社が主催する第72回保健文化賞の受賞が決定しました。  
「役員をはじめ運営委員会等の委員は無償協力であり、臍帯血を病院から搬送するスタッフなど、多くのボランティアや県民、ライオンズクラブ等からの協力を得て運営されており、全国の着実な臍帯血の提供に貢献している」という点が高く評価されました。  
本年秋に「贈呈式」「天皇皇后両陛下への拝謁」が行われます。



2021.1.19  
第一生命保険株式会社神戸総支社長三好浩之氏が伝達に來られました

## 兵庫さい帯血バンク設立20周年記念式典 採取従事者・ボランティア合同研修会

日時:令和3年2月19日(金) 13:30~17:00  
場所:ラッセホール ローズサルーン

### I 式典

- 1 開会挨拶
- 2 祝辞
- 3 来賓紹介
- 4 表彰・感謝状贈呈

### II 研修会(ハイブリット型)

- 1 記念講演
  - (1)臍帯血移植病院より  
虎の門病院 副院長兼血液内科部長 谷口 修一 氏
  - (2)患者・家族の体験談  
臍帯血移植を受けた患者(I.Oちゃん)のご家族
- 2 現場からの報告
 

「新しい命がもう一つのいのちを救う」

  - (1)兵庫さい帯血バンクの活動状況報告:  
甲斐管理監督技術者
  - (2)調製保存業務を行う技師からの報告:  
小林調製保存部門責任者
  - (3)採取施設からの報告:  
あさぎり病院副院長 三村 治 氏
  - (4)支援団体からの報告:  
西宮ホワイトライオンズクラブ会長 入江 成子 氏
  - (5)討論・まとめ: 座長 甲斐管理監督技術者

# バンク20周年事業

## 設立20周年を期して



特定非営利活動法人兵庫さい帯血バンク  
常務理事兼事務局長 葛西 英顕

特定非営利活動法人兵庫さい帯血バンクは、臍帯血保存バッグの破損事故や兵庫医科大学からの立ち退き要請等、幾多の存続の危機を克服し、この度、設立20周年を迎えることができました。また、期しくもこの節目の年に、弊バンクはこれまでの保健医療分野への貢献が認められ、栄えある第72回保健文化賞を受賞することになり、今秋にも両陛下ご臨席のもと贈呈式が執り行われる予定です。これも偏に、国、県、市をはじめ平素ご支援をいただいている皆様の格別のご協力とご尽力の賜物と、心から厚く御礼申し上げる次第であります。

弊バンクはこれまで、臍帯血の調整・保存等の技術部門の業務は、兵庫医科大学からの出向技師により実施してまいりました。しかし、兵庫医科大学から移転して2年、いつまでも大学のお世話になる訳には参りませんので、大学からの出向技師のバンクへの身分移管を図ることとしました。幸い、大学ご当局及び出向技師の皆さんのご理解を得て、出向技師全員が弊バンクに身分移管することに同意してくれました。弊バンクは設立20周年を期して、令和3年4月1日から名実共にワンチームになる訳です。誠に嬉しい限りです。

これを機に、バンクの就業規則や給与規程等の就労関係規程を全面改訂するとともに、未整備だった育児休業規程やハラスメント防止規程等を新たに制定し、新年度から施行することとしています。これら諸規程の改・制定を通じて、職員の処遇と執務環境の改善を図るとともに、職員表彰制度や職員特別報償金支給制度等を整備し、職員の勤労意欲の向上策も講じました。職員の皆さんには意のあるところを汲み取っていただき、共に相携えて意欲的に職務に取り組んで貰えるのではないかと期待しているところです。

また、事業面では、全国的に未だ良質の臍帯血が不足している現況に鑑み、弊バンクの移転に伴って距離的に搬送可能となった播磨地域の産科医療機関を中心に、臍帯血採取施設の拡充を図り、より多くの臍帯血を提供したいと考えています。さらに、採取施設における臍帯血採取の同意を促進するため、新たな試みとして、臍帯血を採取いただいた妊婦さんに記念品を贈呈すべく、(株)ファミリアと商品開発に向けて折衝中でもあります。

このように、設立20周年を期して、弊バンクは内部体制を整え、名実共にワンチームとなり、より良い臍帯血をより多くの患者さんに提供できるよう、役職員一丸となって事業展開に邁進してまいります。皆様には今後とも相変わらぬご指導・ご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



We will move forward as "one team".

## 新規採取施設の紹介

お陰様で兵庫さい帯血バンクの採取施設は20施設となります。  
よろしくお願ひします。  
コロナの関係で採取開始は春頃を予定しております。



兵庫県立尼崎総合医療センター  
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 尼崎市東難波町2丁目17番77号  
TEL:06-6480-7000(代)

### 令和3年春頃開始予定

当院は周産期医療センターとしてあらゆる事態に対応できる能力を持っています。医師、助産師による丁寧な時間をかけた妊婦健診と正確な胎児超音波検査を提供し、健康な人はより健康な妊娠生活を、問題のある方にはその予防と早期発見・早期治療を可能とする相談・指導を行っています。当院の「安心と快適」をぜひ実感してください。



## さい帯血採取医療機関のご紹介

<b>母と子の上田病院</b> 神戸市中央区国香通1-1-4 TEL 078-241-3305	<b>パルモア病院</b> 神戸市中央区北長狭通4-7-20 TEL 078-321-6000	<b>神戸市立医療センター中央市民病院</b> 神戸市中央区港島南町2-1-1 TEL 078-302-4321	<b>マムクリニック</b> 神戸市北区有野町唐櫃3389 TEL 078-982-1188
<b>済生会兵庫県病院</b> 神戸市北区藤原台中町5-1-1 TEL 078-987-2222	<b>神戸アドベンチスト病院</b> 神戸市北区有野台8丁目4-1 TEL 078-981-0161	<b>みずとりクリニック</b> 神戸市北区藤原台北町7-2-7 TEL 078-987-4103	<b>なでしこレディースホスピタル</b> 神戸市西区井吹台東町2-13 TEL 078-993-1212
<b>久保みずきレディースクリニック</b> 神戸市西区美賀多台3-13-8 TEL 078-961-3333	<b>神戸市立西神戸医療センター</b> 神戸市西区糀台5-7-1 TEL 078-997-2200	<b>おかざきマタニティクリニック</b> 神戸市西区学園西町5-2-5 TEL 078-798-1103	<b>兵庫県立尼崎総合医療センター</b> 尼崎市東難波町2丁目17-77 TEL 06-6480-7000(代)
<b>関西労災病院</b> 尼崎市稲葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221	<b>高橋産婦人科クリニック</b> 西宮市和上町6-22 オリーブハイツ西宮2F TEL 0798-33-0150	<b>兵庫医科大学病院</b> 西宮市武庫川町1-1 TEL 0798-45-6111	<b>兵庫県立西宮病院</b> 西宮市六湛寺町13-9 TEL 0798-34-5151
<b>あさぎり病院</b> 明石市朝霧台1120-2 TEL 078-912-7575	<b>大森産婦人科医院</b> 高砂市伊保港町2-5-17 TEL 079-448-1103	<b>西川産婦人科</b> 姫路市花田町一本松165-1 TEL 079-253-2195	<b>親愛産婦人科</b> 姫路市網干区垣内中町260 TEL 079-271-6666



特定非営利活動法人  
兵庫さい帯血バンク



#### 【事務所】

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5 日赤合同庁舎4階  
TEL 078-221-0280(事務部門) 078-221-0281(技術部門)  
FAX 078-221-0282

URL <https://www.saitaiketu.org>

発行日 令和3年2月15日 発行者 後藤 武

### 編集後記

特定非営利活動法人兵庫さい帯血バンクは2020年9月5日に設立20周年を迎えました。その間何度か危機に陥りましたが、「新しい命がもう一つのいのちを救う」助けられる命を諦めることはできない、この思いで難局に挑んでまいりました。この20年を振り返れば、どれほど多くの方に支えられて成されてきたのか感謝の念に堪えません。今後も原点を念頭に真摯に精進を重ね邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。最後に20周年記念号の発行にあたりご協力をいただきました皆様ありがとうございました。



特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク  
TEL. 078-221-0280 FAX. 078-221-0282

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5 日赤合同庁舎4F  
URL <https://www.saitaiketu.org>